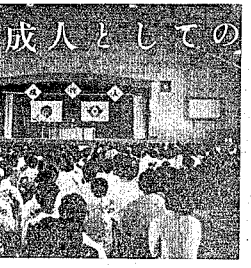
成人としての心構えと先輩に望むこと



一月十五日は成人の日には、二十才を迎えた若い世代（男子二百八十八名女子四百二十八名）が希望に満ちながら、周囲の祝福をうけながら、大人の仲間入りをいたしました。

社会に新風を吹きこむ新しい成人として先輩市民のすべてが敬かく見守り、励ましてゆきたいものです。

同時にきびしい責任をともなう成人の社会的義務を改めて考え、若い人間への理解を深める意味で、成人としての心構えと先輩に望むことを、私達成人一年生が社会的な義務その他の面でいろいろ欠けると、ところがあるとして先輩としてあたたかくきびしい指導を願うものであります。

このことはあくまで他人太顔の意でなく、早く社会の先輩と同じように社会人として一人前になってゆきたいからであります。

成人式を迎に際により豊かな人間形成への努力を心に銘記し、これからの人のある人間になりたいと思います。

もちろん大人としてはずかしくない責任ある行動をしなければなりませんが、社会、先輩に望むことは、まず信頼される人間になってもらいたいということです。

それから約束してたことは結果を先に考えず実行してもらいたいと思います。

私も先輩達に負けないよう努力してゆこうと考えております。

草水　渡邊ヨシ子

終戦後まもなく生れた私も二十才になりました。

そして多数の友達と共に祝ってもらえるこの成人の日を心待ちにしていました。この時が私の一生の晴れの日です。

子供から大人になるための、私の職場は水田の中に位置し、春は緑の苗、秋には黄金の稲穂の波にかこまれます。

そのような田園的風景だけでなく、土にまみれ自分の力を一つのことに出しきって汗を流す農業という職業に私の一番気持ちに合ったものです。

稲一杯の力を田・畑に注ぐ地に足をつけた不動の彼らの生き方が私の心の中での脱皮が始まるのです。

私達成人となった女性には家庭を築き、子供を育てるといった非常に託されています。そのためにも精神的老化現象などおこさずに弾力性のある成人になりたいです。

成人式をすぎると年月の早さは驚く程と言われる私は〝これから〟の私は〝地に足をつけた〟人生を送ろうと思います。

を、とらえているのでしょう。

地に足をつけると意味が異なるかもしれませんが、私も自分の目を耕してみようと思うのです。

女らしさを身につけるための花嫁修業でもよし、ボーリングでもよし、そこから何が育つのかわからない私の田ですが、何かことをなすことによって生れてくるものがあると思うのです。

私達成人となった女性は、家庭を築き、子供を育てるといった非常に託されています。そのためにも精神的老化現象などおこさずに弾力性のある成人になりたいです。

成人式をすぎると年月の早さは驚く程と言われる私は〝これから〟の私は〝地に足をつけた〟人生を送ろうと思います。

小山口　強

一年の計は元旦にあり、と言う諺がありますが、そして一歩進めて考えて見ると、一生の計は青年期にあり、と言う事もいえるのではないでしょうか。

私達が新成人を迎えるにあたって多くの義務と責任、更に努力を必要とするものだと痛感いたします。

要するに我々成人者に与えられる権利を全うし、また義務を果し、与えられる自由には責任を持って行動しなければならないし、素直に成人としての熱意と希望を持って生活をしてゆきたいと思います。

私は成人式が終ったからおいっぱい酒も煙草もものめると言う外観だけの成人になるようにこれから一生懸命に努力したい。

成人の仲間入りをするにあたり社会の先輩に望むことは、私達成人一年生が社会的な義務その他の面でいろいろ欠けると、ところがあるとして先輩としてあたたかくきびしい指導を願うものであります。

このことはあくまで他人太顔の意でなく、早く社会の先輩と同じように社会人として一人前になってゆきたいからであります。

成人式を迎に際により豊かな人間形成への努力を心に銘記し、これからの人のある人間になりたいと考えております。

新町　今井光子

私は成人式が終ったらおいっぱい酒も煙草もものめると言う外観だけの成人になる、本当に成熟した成人になるように努力したい。

成人の仲間入りをするにあたり社会の先輩に望むことは、私達成人一年生が社会的な義務その他の面でいろいろ欠けると、ところがあるとして先輩としてあたたかくきびしい指導を願うものであります。

このことはあくまで他人太顔の意でなく、早く社会の先輩と同じように社会人として一人前になってゆきたいからであります。

成人式を迎に際により豊かな人間形成への努力を心に銘記し、これからの人のある人間になりたいと考えております。

私は自分の人生を切り開くことだと思います。

私は成人式が終ったらおいっぱい酒も煙草もものめると言う外観だけの成人になる、本当に成熟した成人になるように努力したい。

成人の仲間入りをするにあたり社会の先輩に望むことは、私達成人一年生が社会的な義務その他の面でいろいろ欠けると、ところがあるとして先輩としてあたたかくきびしい指導を願うものであります。

このことはあくまで他人太顔の意でなく、早く社会の先輩と同じように社会人として一人前になってゆきたいからであります。

成人式を迎に際により豊かな人間形成への努力を心に銘記し、これからの人のある人間になりたいと考えております。

私は自分の人生を切り開くことだと思います。

夢中で、思ったことの半分も出来ませんでしたが、その中で感じたことは、あまりにも矛盾に満ちたこの大人達の手で平気でやられていることです。

こうゆう人間に反抗したものゝ自分自身何一つ役立つ人間になれないと思いました。

それより今度はその中に溶けこんで、日本や世界の政治、経済というものの方を知り少しでも平和な社会造りに役立つよう努力したいです。

最後に社会や先輩に望む事は、私たち成人が一人前になれるよう、また、社会人として大切なことは第一に、政治に参加することであると思います。

それには時は流れてゆく、また、時は人を待ってくれません。

私達成人は、社会や先輩に望むことは